

■ ご利用者向け 課題解決の導入機器・装具

2020/1/10

	2020年1月10日時点			解決目的	場所	判断基準		
	使用期間(年)	種類	数			ADL状態	体型・体格	その他の心身の状況
1	5.0	トイレ アームサポート	18	転倒予防	トイレ	トイレを使用できる程度の座位・立位がある	無し	・(特に)立位が不安定な方
	1.3	トイレ アームサポート	24		トイレ		無し	・【数量追加】手すり更新にあわせトイレを使用できる方の居室ゾーンに導入(オムツの方は不要)
2	6.6	入浴リフト	1	自立支援	風呂	歩行困難	無し	・麻痺又は拘縮がある ・骨折や表皮剥離のリスクが予測される ・リフトに抵抗(恐怖感)が無い
3	1.1	スライディングボード	2	自立支援	居室	座位が保てる	無し ※職員負荷が高い場合はリフト対応	・基本的に端座位が保てれば使用可
4	0.4	ターンテーブル	2	自立支援	居室	立位、座位が保てる	無し ※職員負荷が高い場合はリフト対応	・立位および足の踏み変えが出来る
5	0.4	フレキシバルト ハグ	2	自立支援	居室	立位が保てる	無し	・上肢が使えてベルトがつかめる
6	6.6	床走行移乗リフト	4	二人移乗ゼロ	居室	ほぼ全介助	1人移乗が困難	・麻痺又は拘縮がある ・骨折や表皮剥離のリスクが予測される ・リフトに抵抗(恐怖感)が無い
	1.6	床走行移乗リフト ※体重計付き1台	2		居室			
7	1.2	天井走行リフト(移乗用)	12		居室			
8	0.6	天井走行リフト(訓練用)	2		居室	一部介助	無し	・意思伝達が可能 ・運動意欲がある
9	5.3	リショёрネ	2	離床機会	居室	全介助	1人移乗が困難	・リフトよりも離床時間が増える事が確実である (主に寝着変更の方) ・独自の「優先順位決定基準表」を使用。褥瘡がでやすい方は中止しエアマット活用へ移行する場合もある。
	2.0	リショёрネプラス	2		居室	全介助		
	1.1		2	居室	全介助			
10	1.3	センサー付きベッド(離床キャッチ)	8	転倒予防	居室	座位保持以上	無し	独自の「リスクアセスメント表」にて予測されるリスクを洗い出し機器の必要度合いを判断 主共通点 ① 起立動作が不安定(介助が無ければできない) ② 認知症状(オースコルが使えない、要求が通じて応える力か不明・不可能)
11	3.2	眠りスキャン	2	状態把握(定量化)	居室	特に予測がつかずづらいがリスクが高いと判断した方	無し	リアルプロセス測定からリスクを判断し、その方にとって最優先すべきことをケアプラン及びサービスに反映させる。 ・不眠症状 ・昼夜逆転 ・食事量低下 ・新規入所(睡眠や体動状況を把握し見守るレベルを知る)
	1.3		10		居室	看取り期 新規入所	無し	
12	6.7	PARO	2		どこでも	表情で反応することが出来る	無し	・動物が好き ・表情で反応確認できれば可 ・抱きかかえたり、撫でたりできれば尚可。
13	2.5	Pechat	1		どこでも	表情で反応することが出来る	無し	・話すことが好き ・歌やお話を聴くのが好き
14	0.5	TRIRINGS	4	可動域の維持・改善	2階	個別機能訓練加算対象者	無し	・意思伝達(要求が通じて応える)が可能 ・運動意欲がある

■ 職員向け 課題解決の導入機器・装具

	2020年1月10日時点			解決目的	場所	判断基準		
	使用期間(年)	種類	数			ADL状態	体格	禁止事項
1	2.1	バンテリンベルト	職員数に応じて	移動 移乗	入浴以外の介助	腰部に疼痛(不安)がある	無し	2時間以上の使用
2	2.1	ラクニエ	24	移動 移乗	主に入浴介助 おむつ交換	無し	無し	膝に著しい疾患がある
3	0.1	ケアパレット (ICTによる血圧・体温記録) ※iPad	4	記録の省人化	1・3・4階	---	---	---
4	0.1	インカム (即時情報共有) ※iPod, iPad	6	即時の情報共有 (判断スピードをあげる、情報共有 又メモを防ぐ)	3階	---	---	---